

質 問 者 木 村 公 雄

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 町長選挙への対応について	平成31年3月に公表した女川町総合計画は、今後
	10年間に向けた町政の基本的方向性を示すものであ
	り、同年3月5日に全会一致をもって原案可決され
	たものです。
	総合計画の中に掲げられている諸施策の遂行のた
	めにも、是非4期目に立候補し町民にその信を問う
	べきであり、退任する私を含め町民を代表する議会
	議員の大多数も賛同していると思います。
	令和5年10月22日執行の町長選挙に対する対応を
	伺います。
2 給食費の無償化は絶対に必要	(質問の相手：町長)
	「政治は生活」、「町づくりは人づくり」、「人
	づくりは町づくり」政治の原点は人づくりだと思い
	ます。県内35市町村のうち4割の14市町村で完全、
	又は一部無償化を実施しています。
	町の予算ではできない程の金額ではありません。
	町内の世論を2分し、内戦とも言われた東北電力
	原子力発電所の誘致決議した先達の想いを踏まえ是
	非実現すべきであると思います。
	また、先般の婦人会と議会との懇談会においても

質 問 者 木 村 公 雄

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 小・中学校全国学力 調査結果について	給食費の無償化を求める意見がありました。
	町長選挙に立候補する場合、公約に入れるべきと
	と思いますが。
	(質問の相手：町長)
	公表できる範囲でかまいませんので、先般行われ
	た小・中学校全国学力調査結果を伺います。
	(質問の相手：教育長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 原発に依存しない町、 産業の強化を	6月に原発対策特別委員会で福井県美浜原発の視察に行きました。その感想として、原発マネー、交付金への依存の高さが報告されました。昨年、東京で開催された原発立地自治体の意見交換会、通称原発サミットにおいても、各地の議員の発言から依存の高さを感じました。
	以前行った一般質問の中で、「女川の基幹産業、主要産業は何か」という私の問いに、即座に町長は「水産業です」と答弁されました。
	SDGsを進めるうえで、膨大な温排水を排出する原発は、温暖化対策の優等生とはいえません。オフグリットやマイクログリットに取り組む未来が来ると思います。
	女川が自立できる主要産業の確立、強化をすべきと考え、町長の考えを伺います。
	(質問の相手：町長)
2 防災に強い教育、互 近所の力を育てよう	(1) 今年、1923年9月1日の関東大震災から100年目を迎えました。当時、井戸に毒を投げ入れた、放火したなどのデマにより、朝鮮人や中国人が虐殺されました。また、朝鮮人等を判

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	別するため濁点の多い言葉等を言わせ、発音の
	よくできない沖縄人、東北人が巻き込まれたと
	いいいます。
	歴史からの教訓として、また、震災を経験し
	皆で支え合ってきた教訓として、子どもも大人
	も集団の力やデマに惑わされない教育、時には
	常識も正しくないことがありますから、良心、
	良識に従う教育が必要と思います。
	町長、教育長の考えを伺います。
	(2) 昨年、議員講座で山村武彦氏の講演を拝聴し
	ました。互いに近くの人たちが助け合う「互近
	所」には共感を覚えました。いい言葉だと思い
	ます。私も防災のためにも地域コミュニティの
	重要性を訴えてきました。子どもたちにとって
	も、学校にいる時や親と一緒にいる時に災害に
	あうとは限りません。やはり、身近な付き合い
	の中で助け合うことが効果的と感じます。更な
	るコミュニティ、互近所の力で暮らしやすい町
	づくりを。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 廃食油の資源化への 取組を	8月2日、FRY（揚げる）からFLY（飛ぶ） へという新聞記事がありました。廃食油で持続可能 な航空燃料SAFを生産し、利用しようという記事 です。
	現在SAFは、日本では輸入に頼っています。逆 に廃食油の多くは輸出されています。SAF生産に は廃食油の回収ルート確立がカギになるそうで、大 手飲食産業とも協力を広げています。
	女川では、廃食油は回収した後、焼却処分してい ます。もったいない廃食油を資源化し、収入になる 仕組みづくりに取り組んではどうですか。
	（質問の相手：町長・担当課長）

質 問 者 平 塚 勝 志

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 震災後、12年間の町政 を担って	本町は復興のトップランナーと目されるほど、その整備事業、町づくりは町長を先頭に素晴らしい成果を挙げてきました。
	またコロナ禍では、町民の生活環境維持と産業への補助など柔軟な対応をしてきました。
	町長は、正に震災からの波乱に満ちた12年間の町政のかじ取りをしてきました。
	町長自身は、やり遂げてきた部分、また、やり切れていない分があったのか、総括を伺います。
	(質問の相手：町長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 児童・生徒の健康と 体力は	(1) 現在の本町児童・生徒の健康と体力の現状 をどのように分析し、考察していますか。
	(2) 最新のデータによる小児生活習慣病予防検 診結果の評価は。
	(3) これらの現状を踏まえ、食生活の改善事業 や体力づくり事業をどのように展開するか、 伺います。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)
2 人にやさしい公園整備 を	(1) 以前から、町内の公園全体の課題として、 東屋等の日除け設備設置や、一休みするため のベンチとテーブル設置の要望がありますが、 町としての対応は。
	(2) 総合運動公園利用者に対するトイレ開放の 運営はどのように考えていますか。
	(3) 総合運動公園野外活動施設の老朽化対策、 ローラースライダー撤去に伴う施設設備の魅 力づくりの計画は。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)

質 問 者 佐 藤 誠 一

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 町内道路の安全管理 対策は	国県道、町道等側面からの倒木、落石、土砂流出等の安全管理対策は。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 駅前商店街の活性化 について	(1) シーパルピア女川・ハマテラスにおける7月
	の出店事業者募集では、4区画で出店者を募集
	しています。これまで少数の店舗の入れ替わり
	はありましたが、まとまった数の店舗を募集す
	る現状は商店街の活力を維持していく上で重要
	な局面だと感じます。現状をどのように認識し
	ていますか。
	(2) 商店街の賑わいや町の活力を維持していく上
	でも、これまで以上に関係団体との連携を深め
	ながら、空き店舗対策や地域の魅力作りが必要
	になりますが、今後の取組について伺います。
	(3) これまで、創業本気プログラムを経てのテナ
	ント出店等で好循環を生んでいました。出店者
	を増やす上でも町に活力を生む上でも、新しい
	スタートを切る空気感を醸成していくことが重
	要だと考えますが、その点について町長の見解
	を伺います。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 子どもの遊び場について	(1) 本町では今年の7月26日に7月の観測史上
	最高となる35.7度を記録するなど猛暑日が続き
	ました。東北の中でも比較的涼しいと言われて
	きた本町でも、危険な暑さを感じる日が増えま
	した。寒さの影響により家に引きこもりがちな
	冬場に加え、夏場も屋外で遊び難い状況です。
	子どもたちが1年を通して安心して遊べる屋内
	での遊戯施設の必要性を感じますが見解を伺い
	ます。
	(2) 旧女川第一小学校の跡地に建設される社会教
	育施設について、本町が子育て世代を対象にし
	たアンケート調査において、どのような意見や
	要望が寄せられたのか伺います。
	(3) これまでの整備計画にアンケート調査の結果
	をどのように反映させていくのか伺います。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 交通の利便性について	私たち日本共産党女川町委員会は、町民の皆さま
	へ7月にアンケートをお願いし、2400通の配布に対
	して8月15日現在で226通の回答が寄せられました。
	その中で「今後町政で特に力を入れて欲しい事は」
	との設問に対して、一番多かった回答は交通の利便
	性でした。
	(1) 町民バスについては、毎年アンケート等で利
	便性の向上に努力されていますが、町民からの
	要望はまだまだ多いと感じています。このこと
	についての見解を伺います。
	(2) 玄関から玄関へのデマンドタクシーの要望は
	かなりあります。また、フリー乗降を望む声も
	多く聞かれます。そしてまた、町民からは町内
	企業1社だけのタクシー利用に関する不満の声
	も聞こえてきます。町内1社だけに頼らず、町
	外の企業や社協との連携など、知恵と工夫が必要
	と思います。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 物価高騰対策に町独自の支援策を	町民アンケートの中で、「コロナ禍の前と比べて暮らしはどうですか」との設問には苦しくなったと回答した人が半数を超えています。新型コロナウイルス感染症の5類への移行と同時に始まったエネルギーや穀物の世界的な高騰は、私たちの生活を直撃し、今やどこの国も大きな不安の中にあり、本町も例外ではありません。特に本町において将来に不安を感じている人たちは7割を超えています。少子高齢化が進む中での本町におけるこの比率は、見過ごすことのできない数字だと思います。
	(1) この状況についての見解を伺います。
	(2) 特に漁業に従事する方からは、燃料の高騰で大変との声が。「船を出しても必ず水揚げがあるとは限らない」、「船を出してみなければわからない」とのことです。このことについてどう思いますか。何か方策はありませんか。
	(3) 漁業者だけでなく、自営業者も含めた全町民に対する物価高騰対策として、町独自の支援をすべきと考えますが。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
3 スクールバス利用の 拡充を	旭が丘に在住の子育て中の両親からの訴えです。
	「今年の夏は異常気象で猛暑が続いており、部活帰りに女子中学生が熱中症で死亡するというニュースを聞くにつけても、他人事ではないと感じます。来年小学生になる子どもがいますが、子どもの足だと学校まで40分ほどかかります。また、冬の足場の悪い中を歩かせるのも不安です」との声です。
	(1) このことについてどう思いますか。
	(2) スクールバスを利用している子どもの人数について、それぞれのスクールバスの利用人数と空いている席数は。
	(3) 「地球温暖化」から、今や「地球沸騰化」とまで言われるような異常気象です。
	子どもたちの安全と親御さんの安心のために
	もスクールバス利用の拡充を速やかにすべきと思います。スクールバスの利用は2km以上など
	という従来の発想から抜け出す時期に来ている
	と思いますが。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 住民の不安に向き合う 原発行政を	7月31日、東北電力樋口康二郎社長の記者会見に
	において、他電力の原子力発電所で指摘を受け実施す
	ることになった「電線間の火災防護対策」を踏ま
	え、女川原発2号機でも追加の火災防護対策工事を
	進めているが工事箇所や作業量も多くなっていると
	の報告がありました。11月の工事完了、2月の再稼
	働に向けた設備の安全性や要支援者の避難について
	伺います。
	(1) 追加の火災防護対策工事の内容はどのような
	ものと報告を受けていますか。
	(2) 規制基準では、電線管の系統分離において系
	統間の水平距離を6 m以上取ることが要求され
	ていますが、基準不適合のまま再稼働させるこ
	とはありますか。
	(3) 原子力災害に係わる個別避難計画の作成は完
	了しましたか。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 女川のスポーツ振興について	本町のスポーツ施設整備がほぼ完了し、各施設で
	様々な種目が行われるようになりました。
	それぞれの分野で大会や、通常の活動が行われて
	いますが、分かる人にしか分からないというような
	活動状況にあると思われます。
	(1) 月ごとに各施設で行われる大会や活動の行事
	予定を町広報や各施設に貼り出すなどして多く
	の方に知ってもらえるようにしては。
	(2) 町民のコバルトレー女川の試合観戦者数は。
	(3) うみねこマラソンをまずは町主導で復活でき
	ませんか。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)

質 問 者 鈴 木 公 義

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 ふるさと納税について	ふるさと納税制度に基づく全国自治体への寄付総額が2022年度、9654億円となり、3年連続で最高額を更新しました。
	(1) もはや1兆円市場へと成長したふるさと納税に対する見解を伺います。
	(2) 石巻市でのふるさと納税に関する返礼品等の取組状況は。
	(3) 本町での取組状況について。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 鈴 木 公 義

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 処理水の海洋放出について	福島第一原発に溜まる処理水の海洋放出が現実味
	を帯びてきました。新聞紙上でも、8月下旬から9
	月上旬を検討という見出しが出ているところです。
	国の方針であり、被災地域のことを考えると、と
	いうこともあります。本町の漁業関係者も風評被害
	を受けることが懸念されるところです。
	(1) すでに香港や中国等、輸出水産物の風評被害
	が出ているとの見方もありますが、見解を伺い
	ます。
	(2) 風評被害等に対する補償は行うとのことですが、被害の査定等大変困難であると考えられますが見解を伺います。
	(質問の相手：町長・担当課長)